

(別紙4(2))

事業所名 マイハウス すが

作成日: 令和 7 年 5 月 29 日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成 に要する期 間
1	5	ADLの低下により車いす生活となられる利用者様が増えたが認知症のため歩けると思い、車椅子から立ち上がったたり危険な場面が多く、安全ベルトの使用や夜間のベッド柵設置などの身体拘束が行われている	常に安全ベルトで拘束するのではなく、職員の目がある時や必要ではないと思われるときは小まめに安全ベルトを外すなど、日常的に行うことを当たり前としないようにする	食事中など食席に着いたときは外す。職員が常に側に付いているときはソファに移乗するなどしていただく	1か月
2	12	新規職員の採用がなく職員の高齢化も現実化してきている。研修を受ける意欲もかけてきているように感じる	若い職員が採用されることで新しい空気が入り職場が活性化されることが望まれる。また研修を受ける機会を多く持ち知識を広めより良い介護を目指してほしい	新規職員を募集し若返りを行う。また現在いる職員も向上心を持てるよう研修の機会を持てるよう支援する	3ヶ月
3	22	本来重度化したり終末期の介護は行わないと契約時に家族には説明し納得して頂いているが、入所時点で重度の認知症であったり、病気が見つかかり入退院を繰り返しながら重度化していく利用者様が増えてきた。また近年入所の申し込みが減り運営的にも重度の方の支援も行わないといけなくなっている	グループホームらしい自立度の高い認知症の方の支援を行っていくことが理想ではあるが、現実には難しくなっている。重度の利用者様にも対応できるよう知識と技術を備えていきたい	必要な支援が出来るよう介護だけではなく医療面での知識も必要になってくるので、主治医や訪問看護師に解らないことは何でも聞いて正しい対応を行えるようにする。また緊急時の対応などマニュアルを作り職員全員が共有できるようにする	3ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。